



公職者48人の資産報告を審査

政治のあり方や倫理・道徳が示されている福智町政治倫理条例。この条例に基づく町長等・議員の資産報告を受け、政治倫理審査会が6月から8月にわたり内容を審査してきました。ここで、9月15日に平野健会長が浦田町長に提出した意見書の内容と資産報告の状況をお知らせします。

1 資産報告書の提出・記載状況

- (1) 福智町政治倫理条例（以下「条例」という）第4条が定める資産報告書の報告義務者は、町長、教育長（5月15日現在のため、助役は除く。以下「町長等」という）の2人および町議会議員（以下「議員」という）46人の計48人である。このうち、町長等は町長に、議員については46人中45人が議長に5月31日時点までに報告書を提出している。残り1人は8月25日付で提出している。
- (2) 町長等の配偶者および扶養または同居の親族（以下、「配偶者等」という）5人および、議員の配偶者等89人の資産報告書は期限までに提出され、前述1人の親族等2人については8月25日に提出された。
- (3) 提出された資産報告書の記載状況の概要は次のとおりである。

回	開催日時	場 所	審 査 の 概 要
1	6月20日	役場 303 会議室	審査方法・期間の確認
2	7月6日	役場 303 会議室	資産報告書審査
3	7月12日	役場 303 会議室	資産報告書審査
4	7月19日	役場 303 会議室	資産報告書審査
5	7月24日	役場 201 会議室	資産報告書審査
6	8月1日	役場 201 会議室	資産報告書審査
7	8月16日	役場 303 会議室	資産報告書審査
8	8月31日	役場 303 会議室	意見書作成

3 審査会の開催状況

当審査会は、平成18年6月20日付けで条例第8条に基づき町長より資産報告書の審査を求められ、審査を開始した。なお、審査会の開催日時、開催場所、審査の概要は次のとおりである。

- (1) 報告義務者（町長等2人、議員46人）計48人
  - (2) 配偶者（町長等の配偶者2人、議員の配偶者37人）計39人
  - (3) 扶養または同居の親族（町長等の扶養または同居の親族3人、議員の扶養または同居の親族54人）計57人
- 総計 144人（平成18年5月31日現在）  
※1人については8月25日提出

2 本年度資産報告書の提出者



みんなの心が一つになった

今回の大会を通じて、みんなの心が一つになったと思います。団員をはじめ、女性消防隊も本当によく選手を盛り立てた。そして、それに応えた選手。時にはハラハラさせられたが本当によくやってくれた。優勝はできなかったけれど、福智町消防団の団結という大切なものを得ることができた。

福智町消防団 中村博樹 団長



選手を支えてくれたみなさんに心から感謝

仕事をしながらの訓練は、選手にとって本当に大変だっただろうと思われま。そんな彼らをもっとバックアップしてくれたのは、応援に駆け付けた団員たちと裏方の役場消防担当。そして、選手のご家族の支援でした。おかげで選手は、厳しい訓練を耐え抜くことができました。心から感謝します。

田川地区消防署金田分署 平山開誠 分署長



教官方は選手の気持ちを受け止めてくれた

「絶対優勝を目指す」。そんな我々の気持ちを真正面から受け止め、最大限の努力でご指導くださった教官方。本当にありがとうございました。消防団員をはじめ多くの人に支えられてやり遂げられてきたことに感謝します。今大会を通じて得た操法技術、消防署との連携を今後に生かしていきます。

福智町消防団第一分団 高橋卓己 分団長（出場隊監督）



感動を与えてくれたすばらしいチーム

冗談も言うがやる時はやる。そして、みんなが思いやりの心を持った最高のチームだった。みんなと一つの目標に向かうことで、我々隊員も成長できました。本当にありがとうございました。優勝チームにも引けをとらなかったみんなの操法と団結は、これからの消防活動、災害現場できっと役に立つはずです。

田川地区消防署 上村晋司 小隊長（教官）

取材を終えて――

キーワードは感謝。訓練中、大会に臨む前、競技を終えたあと、選手たちは異口同音に感謝の言葉を口にした。自分たちを信じて代表を引き受けた分団長、何から何までサポートしてくれた消防団員、役場の事務局。自分たちをこまめに成長させてくれた消防署の教官。それから、さんざん迷惑をかけた家族に。「ありがたい。選手たちが痛いほど感じたみんなの支え。だからその分、ただひたすらに優勝を目指した。自分だけでなくみんなのために。」「みんなは一人のために、一人はみんなのために」。このことを選手たちがその姿で教えてくれた。彼らが口にしてきた感謝の言葉。最後に、その言葉を選手たちに贈りたい。「ありがとう」。

一致団結して大会に臨んだ福智町消防団。結果、自己ベストの39秒台にはわずかに届かなかった。好タイムを出したが、40秒から42秒台までの間に7チームがひしめく大接戦。出場15チーム中、5位以内の入賞はならなかった。しかし、田川郡から駆けつけた消防団員、選手の勇姿を見守った家族は、どのチームよりも声を張り上げ、最高の応援を選手たちを勇気づけた。そして、田川郡を代表して力を出し切った選手たち。彼らが見せた機敏な動作と操法技術、培った福智町消防魂は、決してこの大会で終わりはしない。これからの地域に根ざした消防活動に受け継がれるだろう。

